

商品名 ヒダントール錠25mg 医薬品基本情報

薬効	1132 ヒダントイン系製剤	一般名	フェニトイン錠
英名	Hydantol	剤型	錠
薬価	11.90	規格	25mg 1錠
メーカー	藤永製薬	毒劇区分	

ヒダントール錠25mgの効能・効果

てんかんの(けいれん発作、強直間代発作、ジャクソン型発作、焦点発作、大発作、全般けいれん発作)、自律神経発作、精神運動発作

ヒダントール錠25mgの使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、エンシトレルビル投与中、イサブコナゾニウム投与中、ミフェプリストン・ミソプロストール投与中、レナカパビル投与中、リルピピリン投与中、ソホスブビル投与中、タダラフィル投与中<肺高血圧症を適応とする場合>、マシテンタン投与中、チカグレロル投与中、EVG・COBI・FTC・TAF投与中、アルテメテル・ルメファントリン投与中、ダルナビル・コビシタット投与中、ソホスブビル・ベルパタスビル投与中、ドルテグラビル・リルピピリン投与中、リルピピリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリシタピン投与中、レジパスビル・ソホスブビル投与中、ピクテグラビル・エムトリシタピン・テノホビル アラフェナミド投与中、ドラビリン投与中、DRV・COBI・FTC・TAF投与中、ルラシドン投与中、ニルマトレルビル・リトナビル投与中、カボテグラビル投与中

記載場所 使用上の注意

注意レベル 禁止

2. 混合発作型、血液障害、甲状腺機能低下症、糖尿病、2型糖尿病、肝機能障害、経腸栄養剤投与中

記載場所 使用上の注意

注意レベル 注意

ヒダントール錠25mgの副作用等

1. 眼振、構音障害、運動失調、眼筋麻痺

記載場所 用法・用量

頻度 頻度不明

<p>2. 中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis 、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、発熱、紅斑、水疱、びらん、そう痒感、咽頭痛、眼充血、口内炎、過敏症症候群、発疹、リンパ節腫脹、肝機能障害、臓器障害、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、ヒトヘルペスウイルス6再活性化、HHV-6再活性化、ウイルス再活性化、関節痛、肺炎、白血球減少、血小板減少、抗核抗体陽性、SLE様症状、再生不良性貧血、汎血球減少、無顆粒球症、単球性白血病、溶血性貧血、赤芽球癆、劇症肝炎、著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいγ-GTP上昇、重篤な肝機能障害、黄疸、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、間質性肺炎、肺臓炎、悪性リンパ腫、小脳萎縮、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害、間質性腎炎、悪性症候群、意識障害、筋強剛、不随意運動、発汗、頻脈、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下</p>	<p>記載場所 重大な副作用</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>3. 過敏症、猩紅熱様発疹、麻疹様発疹、中毒疹様発疹、巨赤芽球性貧血、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、黄疸、蛋白尿、腎障害、不随意運動、ジスキネジア、舞蹈病アテトーゼ、アステリキシス、asterixis、ニューロパシー、眩暈、運動失調、注意力低下、集中力低下、反射運動能力低下、頭痛、神経過敏、不眠、複視、視覚障害、眼振、白内障、歯肉増殖、悪心、嘔吐、便秘、くる病、骨軟化症、歯牙形成不全、血清アルカリフォスファターゼ値上昇、血清カルシウム低下、血清無機リン低下、甲状腺機能検査値異常、血清T3値異常、血清T4値異常、高血糖、発熱、多毛、血清葉酸値低下、CK上昇、免疫グロブリン低下、IgA低下、IgG低下</p>	<p>記載場所 その他の副作用</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>4. 小脳萎縮、小脳症状、眼振、構音障害、運動失調</p>	<p>記載場所 使用上の注意</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>5. 複視、視覚障害、眼振、白内障</p>	<p>記載場所 使用上の注意</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>6. 高血糖、口唇裂、口蓋裂、心奇形、奇形を有する児、腫瘍、神経芽細胞腫、出血傾向、葉酸低下、眼振、構音障害、運動失調、眼筋麻痺、振戦、過度の緊張亢進、嗜眠、言語障害、嘔気、嘔吐、昏睡状態、血圧低下、呼吸障害、血管系抑制、死亡、血清免疫グロブリン異常、IgA異常、IgG異常、交差過敏症、過敏症症候群、皮膚過敏症</p>	<p>記載場所 使用上の注意</p> <p>頻度 頻度不明</p>
<p>7. 自殺念慮、自殺企図</p>	<p>記載場所 使用上の注意</p> <p>頻度 5%未満</p>

ヒダントール錠25mgの相互作用

<p>1. 薬剤名等：タダラフィル</p>	<p>投与条件 -</p>
<p>発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下</p>	<p>指示 禁止</p>
<p>理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導</p>	
<p>2. 薬剤名等：マシテンタン</p>	

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

3. 薬剤名等：チカグレロル

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

4. 薬剤名等：アルテメテル・ルメファントリン

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

5. 薬剤名等：ダルナビル・コビススタット

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

6. 薬剤名等：ドラビリン

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

7. 薬剤名等：ルラシドン

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

8. 薬剤名等：リルピビリン

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

9. 薬剤名等：イサブコナゾニウム

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

10. 薬剤名等：エンシトレルビル

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

11. 薬剤名等：ニルマトレルビル・リトナビル

発現事象 代謝が促進され血中濃度が低下
理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導

投与条件 -
指示 禁止

12. 薬剤名等 : ミフェプリストン・ミソプロストール

発現事象 ミフェプリストンの血中濃度が低下し効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導

指示 禁止

13. 薬剤名等 : リルピビリン・テノホビル アラフェナミド・エムトリシタビン

発現事象 リルピビリン及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 及びP糖蛋白誘導

指示 禁止

14. 薬剤名等 : ビクテグラビル・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド

発現事象 ビクテグラビル及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 及びP糖蛋白誘導

指示 禁止

15. 薬剤名等 : ダルナビル・コビススタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミド

発現事象 ダルナビル・コビススタット及びテノホビル アラフェナミドの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 及びP糖蛋白誘導

指示 禁止

16. 薬剤名等 : EVG・COBI・FTC・TAF

発現事象 エルビテグラビル・コビススタット・テノホビルアラフェナミドの血中濃度低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 及びP糖蛋白誘導

指示 禁止

17. 薬剤名等 : ソホスブビル・ベルパタスビル

発現事象 血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 及びP糖蛋白誘導

指示 禁止

18. 薬剤名等 : ソホスブビル

発現事象 血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤のP糖蛋白誘導

指示 禁止

19. 薬剤名等 : レジパスビル・ソホスブビル

発現事象 血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤のP糖蛋白誘導

指示 禁止

20. 薬剤名等 : ドルテグラビル・リルピビリン

発現事象 血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素 (CYP3A) 誘導作用及びUGT1A1誘導作用

指示 禁止

21. 薬剤名等 : カボテグラビル
- | | | | |
|-------|---------------|------|----|
| 発現事象 | 血中濃度が低下 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | 本剤のUGT1A1誘導作用 | 指示 | 禁止 |
22. 薬剤名等 : レナカパビル
- | | | | |
|-------|--|------|----|
| 発現事象 | 血中濃度が低下 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）誘導作用、P糖蛋白誘導作用及びUGT1A1誘導作用 | 指示 | 禁止 |
23. 薬剤名等 : セイヨウオトギリソウ含有食品
- | | | | |
|-------|-----------------------|------|----|
| 発現事象 | フェニトインの代謝が促進され血中濃度が低下 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | セイヨウオトギリソウの肝薬物代謝酵素誘導 | 指示 | 禁止 |
24. 薬剤名等 : イリノテカン
- | | | | |
|-------|---------------------|------|------|
| 発現事象 | 活性代謝物の血中濃度が低下し作用が減弱 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | 本剤の肝薬物代謝酵素誘導 | 指示 | 希望禁止 |
25. 薬剤名等 : ゾニサミド
- | | | | |
|-------|----------------------------|------|----|
| 発現事象 | フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | これらの薬剤が肝代謝を抑制 | 指示 | 注意 |
26. 薬剤名等 : トピラマート
- | | | | |
|-------|----------------------------|------|----|
| 発現事象 | フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | これらの薬剤が肝代謝を抑制 | 指示 | 注意 |
27. 薬剤名等 : ボリコナゾール
- | | | | |
|-------|----------------------------|------|----|
| 発現事象 | フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | これらの薬剤が肝代謝を抑制 | 指示 | 注意 |
28. 薬剤名等 : スチリペントール
- | | | | |
|-------|----------------------------|------|----|
| 発現事象 | フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | これらの薬剤が肝代謝を抑制 | 指示 | 注意 |
29. 薬剤名等 : ゾニサミド
- | | | | |
|-------|---------------|------|----|
| 発現事象 | 作用が減弱、血中濃度が低下 | 投与条件 | - |
| 理由・原因 | 本剤の肝薬物代謝酵素誘導 | 指示 | 注意 |
30. 薬剤名等 : トピラマート

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

31. 薬剤名等：ポリコナゾール

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

32. 薬剤名等：ステリペントール

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

33. 薬剤名等：クロバザム

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

34. 薬剤名等：タクロリムス

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

35. 薬剤名等：テラプレビル

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

36. 薬剤名等：クロバザム

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

37. 薬剤名等：タクロリムス

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

38. 薬剤名等：テラプレビル

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

投与条件 -

指示 注意

39. 薬剤名等：ルフィナミド

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

理由・原因 -

投与条件 -

指示 注意

40. 薬剤名等 : ルフィナミド

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

41. 薬剤名等 : カルバマゼピン

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

投与条件 -

理由・原因 カルバマゼピンが肝代謝を抑制

指示 注意

42. 薬剤名等 : カルバマゼピン

発現事象 本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん

投与条件 -

理由・原因 カルバマゼピンの肝薬物代謝酵素誘導

指示 注意

43. 薬剤名等 : カルバマゼピン

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

指示 注意

44. 薬剤名等 : ネルフィナビル

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

投与条件 -

理由・原因 ネルフィナビルが肝代謝を抑制

指示 注意

45. 薬剤名等 : ネルフィナビル

発現事象 本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

46. 薬剤名等 : ネルフィナビル

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

指示 注意

47. 薬剤名等 : バルプロ酸

発現事象 フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状

投与条件 -

理由・原因 バルプロ酸が肝代謝を抑制

指示 注意

48. 薬剤名等 : バルプロ酸

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	バルプロ酸による蛋白結合からの置換により、遊離フェニトイン濃度が上昇し、肝代謝が促進	指示	注意

49. 薬剤名等 : バルプロ酸

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

50. 薬剤名等 : バルプロ酸

発現事象	高アンモニア血症のリスクが増加	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

51. 薬剤名等 : クマリン系抗凝血剤

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	クマリン系抗凝血剤が肝代謝を抑制	指示	注意

52. 薬剤名等 : クマリン系抗凝血剤

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤による蛋白結合からの置換により、クマリン系抗凝血剤の血中濃度が上昇	指示	注意

53. 薬剤名等 : クマリン系抗凝血剤

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

54. 薬剤名等 : CYP2C9を阻害する薬剤

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

55. 薬剤名等 : CYP2C19を阻害する薬剤

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

56. 薬剤名等 : アロプリノール

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

57. 薬剤名等 : イソニアジド

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

58. 薬剤名等：エトスクシミド

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

59. 薬剤名等：オメプラゾール

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

60. 薬剤名等：ジスルフィラム

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

61. 薬剤名等：ジルチアゼム

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

62. 薬剤名等：スルチアム

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

63. 薬剤名等：パラアミノサリチル酸

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

64. 薬剤名等：メチルフェニデート

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

65. 薬剤名等：エソメプラゾール

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤又は代謝物が肝代謝を抑制	指示	注意

66. 薬剤名等：フルオロウラシル系薬剤

発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

67.	薬剤名等：三環系抗うつ剤		
	発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件 -
	理由・原因	-	指示 注意
68.	薬剤名等：四環系抗うつ剤		
	発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件 -
	理由・原因	-	指示 注意
69.	薬剤名等：トラゾドン		
	発現事象	フェニトインの血中濃度が上昇、フェニトインの中毒症状	投与条件 -
	理由・原因	-	指示 注意
70.	薬剤名等：テオフィリン		
	発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件 -
	理由・原因	-	指示 注意
71.	薬剤名等：アミノフィリン		
	発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件 -
	理由・原因	-	指示 注意
72.	薬剤名等：テオフィリン		
	発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件 -
	理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示 注意
73.	薬剤名等：アミノフィリン		
	発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件 -
	理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示 注意
74.	薬剤名等：リファンピシン		
	発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件 -
	理由・原因	これらの薬剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示 注意
75.	薬剤名等：アパルタミド		

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

76. 薬剤名等：レテルモビル

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

77. 薬剤名等：ジアゾキシド

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

78. 薬剤名等：シスプラチン

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

79. 薬剤名等：ビンカルカロイド

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

80. 薬剤名等：シプロフロキサシン

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

81. 薬剤名等：ビガバトリン

発現事象	本剤の作用が減弱、フェニトインの血中濃度が低下、てんかん発作、けいれん	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

82. 薬剤名等：CYP3Aの基質となる薬剤

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

83. 薬剤名等：パロキセチン

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

84. 薬剤名等：フレカイニド

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

85. 薬剤名等：メキシレチン

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素誘導	指示	注意

86. 薬剤名等：CYP3A及びP糖蛋白の基質となる薬剤

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の肝薬物代謝酵素及びP糖蛋白誘導	指示	注意

87. 薬剤名等：P糖蛋白の基質となる薬剤

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤のP糖蛋白誘導	指示	注意

88. 薬剤名等：ラモトリギン

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進	指示	注意

89. 薬剤名等：デフェラシロクス

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進	指示	注意

90. 薬剤名等：カナグリフロジン

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進	指示	注意

91. 薬剤名等：ラルテグラビル

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤のグルクロン酸抱合を促進	指示	注意

92. 薬剤名等：ポサコナゾール

発現事象	作用が減弱、血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤のUGT1A4及び／又はP糖蛋白誘導	指示	注意

93. 薬剤名等：シクロスポリン

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導、本剤が吸収を阻害

指示 注意

94. 薬剤名等：甲状腺ホルモン剤

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

95. 薬剤名等：カスポファンギン

発現事象 作用が減弱、血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤がカスポファンギンの取り込み輸送過程に影響し、カスポファンギンのクリアランス誘導が起こる

指示 注意

96. 薬剤名等：ドルテグラビル

発現事象 ドルテグラビルの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）及びUGT1A1誘導作用

指示 注意

97. 薬剤名等：ドルテグラビル・ラミブジン

発現事象 ドルテグラビルの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）及びUGT1A1誘導作用

指示 注意

98. 薬剤名等：ドルテグラビル・アバカビル・ラミブジン

発現事象 ドルテグラビルの血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素（CYP3A）及びUGT1A1誘導作用

指示 注意

99. 薬剤名等：ドキシサイクリン

発現事象 血中濃度半減期が短縮

投与条件 -

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導

指示 注意

100. 薬剤名等：アルベンダゾール

発現事象 活性代謝物の血中濃度が低下し効果が減弱

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意

101. 薬剤名等：非脱分極性筋弛緩剤

発現事象 作用が減弱

投与条件 フェニトインを長期前投与

理由・原因 -

指示 注意

102. 薬剤名等：血糖降下剤

発現事象 作用が減弱され高血糖

投与条件 -

理由・原因 本剤のインスリン分泌抑制作用

指示 注意

103. 薬剤名等：アセタゾラミド

発現事象 骨軟化症、くる病

投与条件 -

理由・原因 本剤によるビタミンD不活性化促進、アセタゾラミドによる代謝性アシドーシス、腎尿細管障害

指示 注意

104. 薬剤名等：アセトアミノフェン

発現事象 肝機能障害

投与条件 本剤の長期連用

理由・原因 本剤の肝薬物代謝酵素誘導により、アセトアミノフェンから肝毒性を持つN-アセチル-p-ベンゾキノニンへの代謝が促進

指示 注意

105. 薬剤名等：経腸栄養剤投与中

発現事象 本剤の血中濃度が低下

投与条件 -

理由・原因 本剤の血中濃度が低下

指示 注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』